

紫藤新聞



宮城県白石工業高校 報道委員会

〒989-0203 白石市郡山字鹿野43

TEL0224-25-3240 FAX0224-25-1476

電気工事部門

第2位

東北大会出場権獲得



横山 和樹 君 (電気科2年)

宮城県代表になって

横山 和樹

この大会に出場したのは昨年に引き続き2回目でした。前回は入賞できず悔しい思いをしたので、今年こそは思い練習に取り組みました。本格的な練習を始めたのは大会の一ヶ月前からです。練習では、細かい作業から全体的なバランスまで、なるべく誤差をなくすように意識しました。しかし丁寧さを追い求め過ぎると制限時間内に作業を終わらせることが難しくなります。そこで時間配分を考え、各作業にかかる時間を短縮することで、この問題をク

リアしました。

大会当日は、昨年の経験を活かし、落ち着いて作業を進めることが出来ました。先々の工程を考え、細かいところをいつもより丁寧に仕上げるものが出来ました。それでも少しミスがあったので、「第2位」と発表された時は、少し驚いたところもありました。でも本当は1位で東北大会への出場権を獲得したかったです。東北大会ではこういった細かいミスを減らしたいです。お忙しい中、ご指導下さった電気科の先生方へ感謝し、東北大会でも入賞できるように頑張りたいです。

魅せた！ものづくりの腕

ものコン県大会 2人が入賞

昨年秋に行われた「高校生ものづくりコンテスト宮城県大会」で、本校から2名の入賞者が出ました。それぞれに放課後など空き時間を利用して、自発的に練習に取り組んだ成果が出たものです。

特に横山君は、トップ・タイの97点をマーク。時間差で惜しくも2位となったものの、高いレベルを見せつけ、東北大会出場を決めました。

第3位になって

日下 北斗

私は、白石工業高校の代表として他校の誰よりも良いものを作って優勝するという気持ちで練習してきました。競技直前も緊張はしていましたが、練習で得た技術を全て出し切ろうと、かなり集中できました。

今回の大会では、練習で使ったことのない機械を使用して作品を作ることになりましたが、練習のイメージどおりに加工を行うことが出来、楽しく加工を行いました。

しかし、失敗をした部分もあり、悔しい思いもしました。ねじ面取りバイトの切れ味が悪く、作品に不要な突起を作ってしまった、それを取り除くのに時間がかかり、大会に向けての準備がいかに大切なのかを痛感しました。これが今の自分の実力だということが、はっきりしました。

指導して下さいました顧問の奥田先生をはじめ先生方や応援してくれた仲間のお陰で3位という結果を残すことが出来ました。これまでもありがとうございます。

旋盤作業部門

第3位



日下 北斗 君 (機械科2年)